

令和6年度第2回岩手県大規模事業評価専門委員会

現地調査資料

■ 日 時

令和6年7月10日（水） 10:00～15:25

■ 内 容

令和6年度大規模施設整備事業事前評価及び大規模公共事業再評価対象事業に係る現地調査

■ 調査開始予定時刻及び調査対象事業

調査開始時刻	現地調査対象事業
10:00	都市計画道路整備事業 盛岡駅本宮線（杜の大橋）（盛岡市）
13:10	岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校校舎等新築事業（宮古市）

■ 資料一覧

資料 No. 1 現地調査行程表

資料 No. 2 現地調査箇所位置図及び説明資料

参考資料 令和6年度第1回大規模事業評価専門委員会の審議概要

岩手県大規模事業評価専門委員会委員名簿(五十音順)

氏 名	職	専門分野	備 考
狩野 徹	佐久大学人間福祉学部 教授	都市計画 建築計画	専門委員長
島田 悦作	岩手県立大学総合政策学部 准教授	財政学 農業経済学 環境経済学	欠席
竹内 貴弘	八戸工業大学大学院工学研究科 教授	海洋工学 水工学	
濱上 邦彦	岩手大学農学部 准教授	農業土木 水工学	欠席
松木 佐和子	岩手大学農学部 講師	森林 環境	
松山 梨香子	一般財団法人岩手県建築住宅センター 一級建築士	建築	
八重樫 健太郎	北光監査法人 公認会計士	企業会計	
山本 英和	岩手大学理工学部 准教授	地震工学	副専門委員長 欠席

(敬称略)

令和6年度大規模事業評価専門委員会 現地調査行程

○開催日: 令和6年7月10日(水) 9:30~17:20

○対象事業

- ① 都市計画道路整備事業 盛岡駅本宮線(杜の大橋)(盛岡市)
- ② 岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校校舎等新築事業(宮古市)

○行程

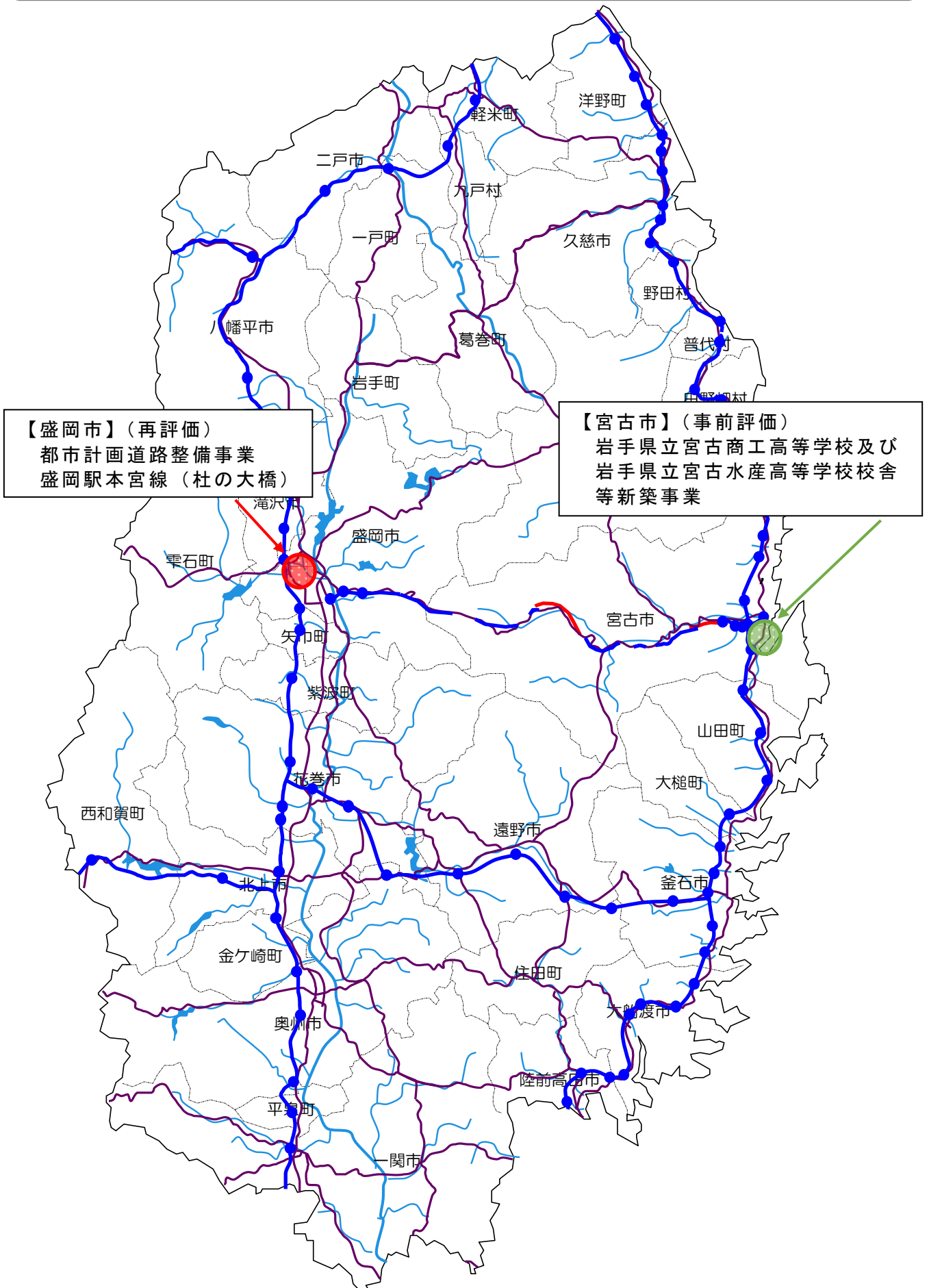
			0:05			0:05			0:30	
始		移動時間	着	9:40	移動時間	着	9:50	移動時間	着	10:00
	県庁	0:10		盛岡駅【乗車】	0:05		傍聴者 集合場所	0:05		盛岡市
	正面玄関前			盛岡駅西口 マリオス前 1階ロータリー			盛岡市子ども 科学館			現地調査
	出発									杜の大橋
発	9:30		発	9:45		発	9:55		発	10:30

			0:45			0:40			0:40			0:40
移動時間	着	12:10	移動時間	着	13:10	移動時間	着	14:00	移動時間	着	14:45	
1:40		宮古市	0:15		宮古市	0:10		宮古市	0:05		宮古市	
		昼食			現地調査			現地調査			現地調査	
※休憩含む		道の駅みやこ レストラン			宮古商工高校 (工業校舎)			宮古商工高校 (商業校舎)			宮古水産高校	
	発	12:55		発	13:50		発	14:40		発	15:25	

			0:05						
移動時間	着	17:05	移動時間	着	17:20				
1:40		盛岡駅【降車】	0:10		県庁				
※休憩含む		盛岡駅西口 マリオス前 1階ロータリー			正面玄関前				
					帰庁				
	発	17:10		終					

◎時間は現時点での目安であり、交通状況等により変更になる場合があります。

令和6年度第2回大規模事業評価専門委員会 現地調査箇所位置図



大規模公共事業再評価 第2回専門委員会

都市計画道路整備事業 都市計画道路盛岡駅本宮線

令和6年7月10日(水)
県土整備部 都市計画課

事業概要

○路線名 : 都市計画道路盛岡駅本宮線

○地区名 : 杜の大橋

○計画延長:L=918m

橋梁整備:杜の大橋L=494m

中央公園高架橋L=163m

道路改築:L=261m

○計画幅員:W=23~26m

○総事業費

当初計画 C=2,600百万円

前回再評価時 C=3,610百万円

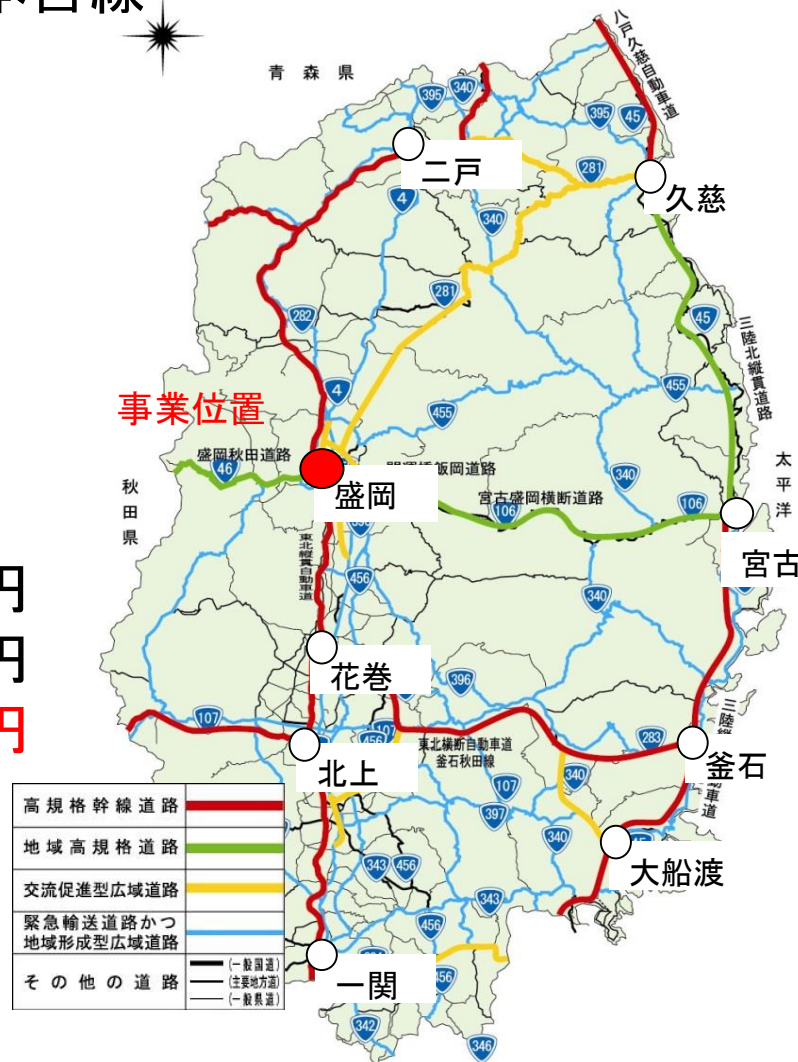
今回再評価時 C=5,500百万円

○事業計画期間

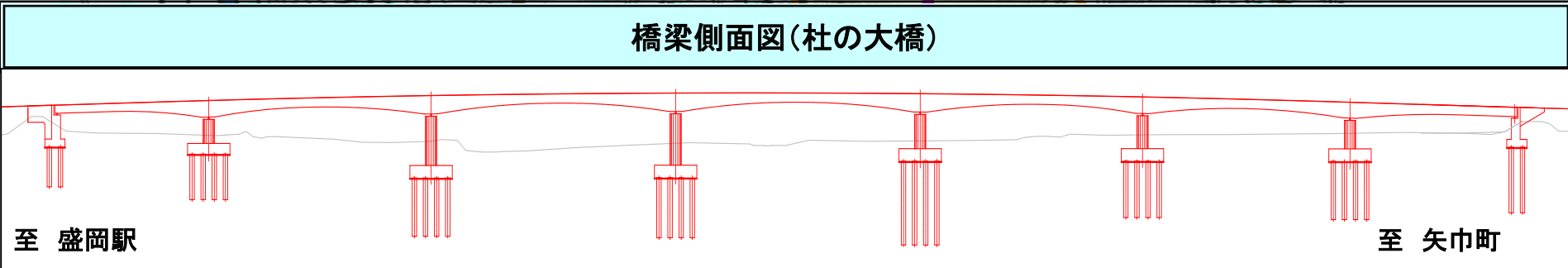
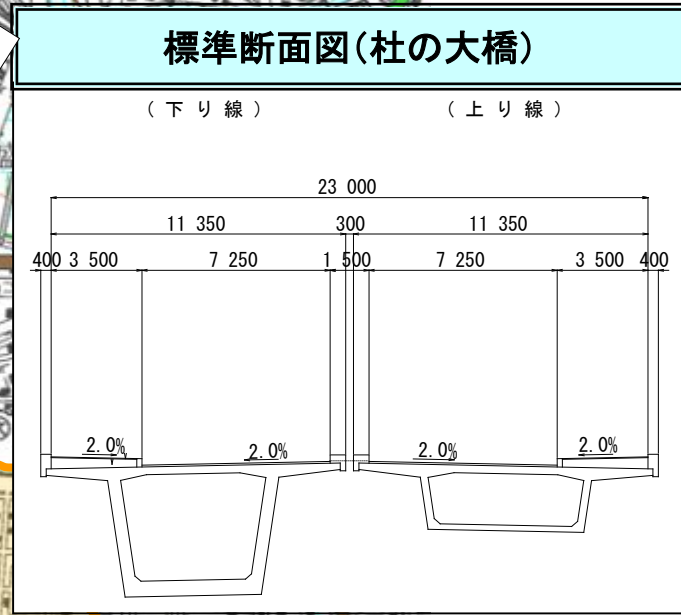
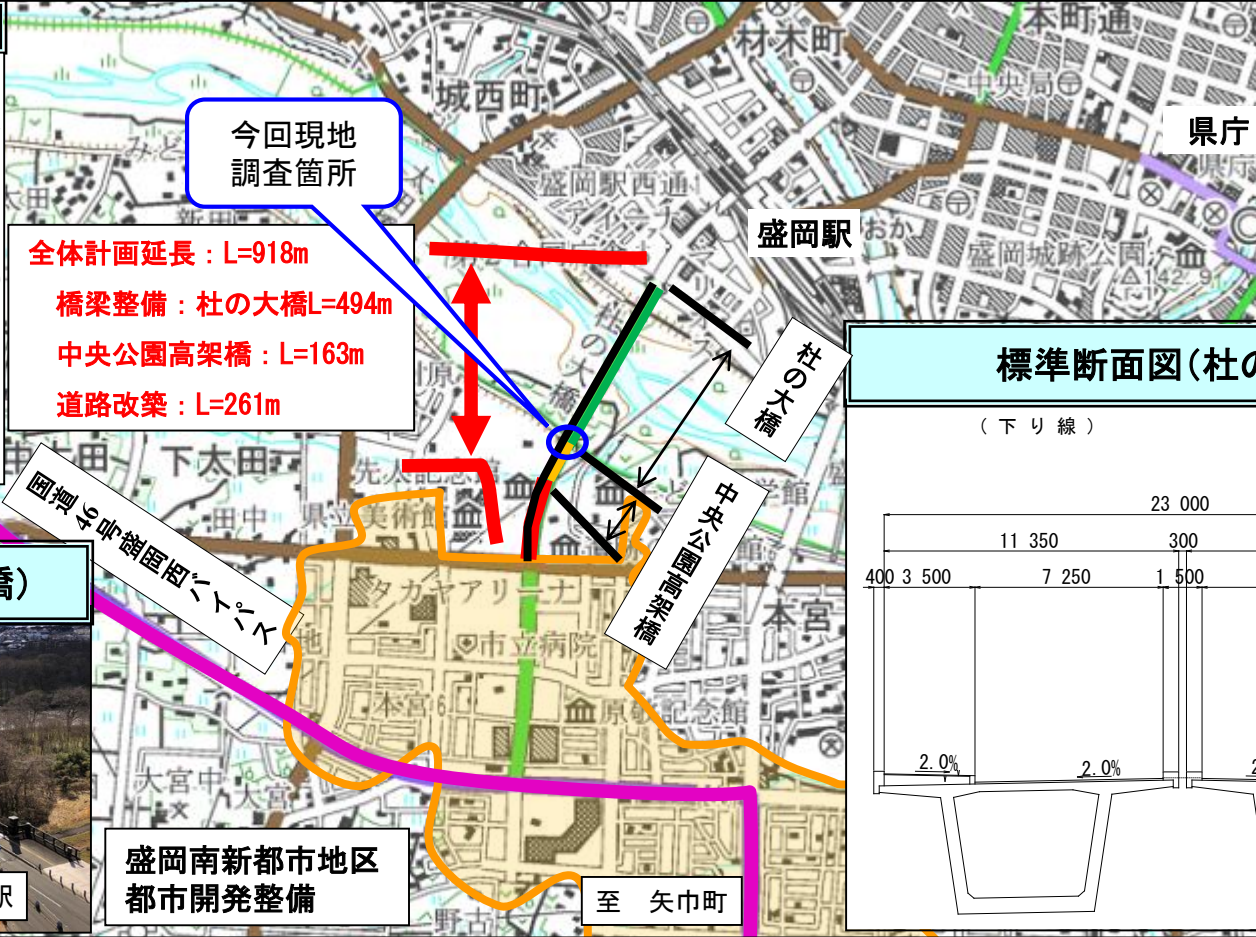
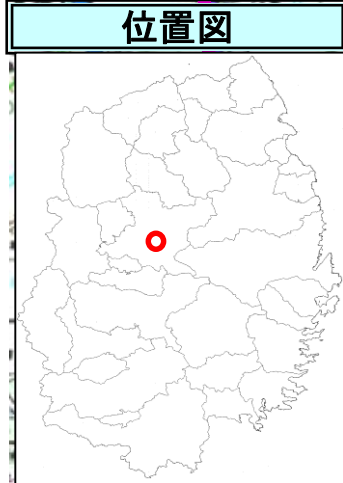
当初計画 H23~H27

前回再評価時 H23~R7

今回再評価時 H23~R8



事業概要図



事業目的(1)

○現状

- ・中心市街地と盛岡南新都市地区とを結び、「もりおか交通戦略」にバスを中心とした公共交通軸として位置付けられた重要な路線。
- ・第Ⅰ期事業として平成18年度に2車線で暫定供用したが、その後、関連する土地区画整理事業等が完了し、市街地が整備されたことから、交通量の増加が見込まれる。

盛岡市立病院

タカヤアリーナ

下り線

上り線

至 盛岡駅

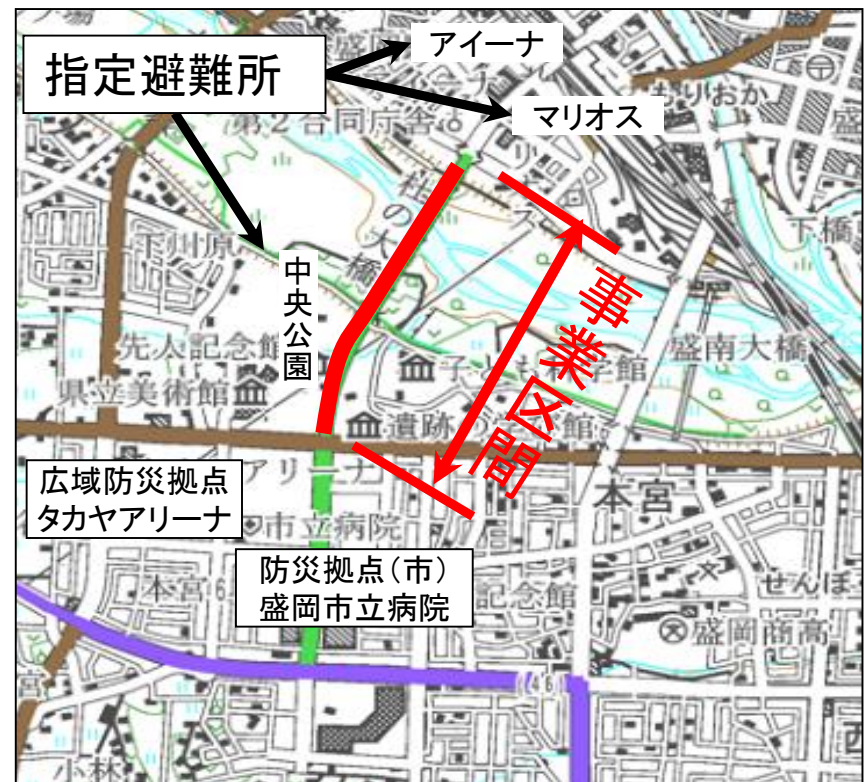
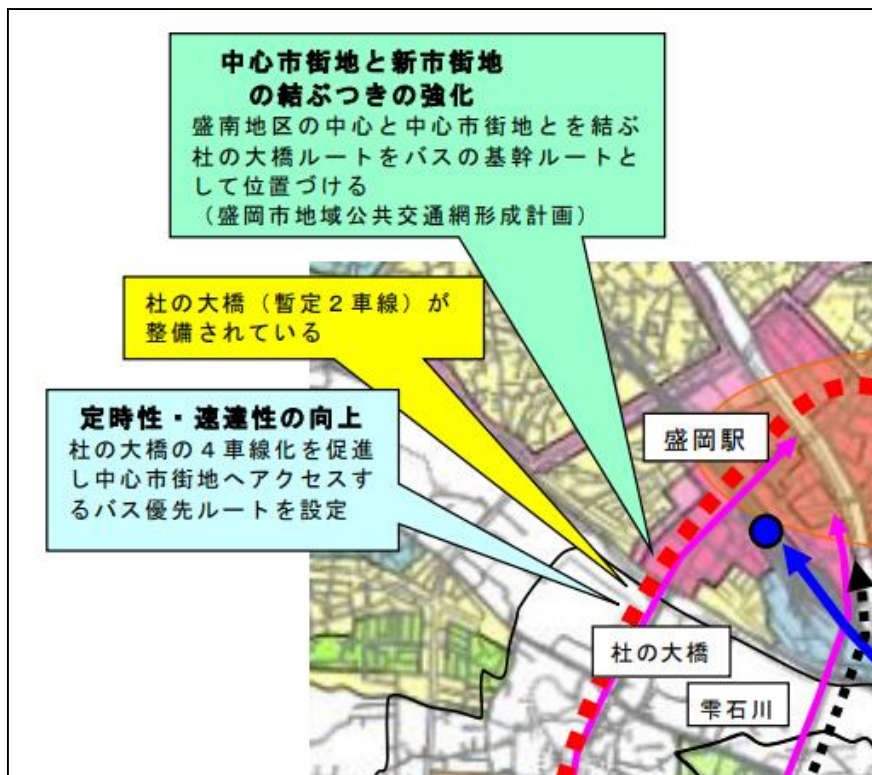
至 盛岡駅

【第Ⅰ期事業後の状況】

事業目的(2)

○効果

- ・下り線の橋梁架設による4車線化により、交通混雑の緩和を図り、車両の円滑な通行を確保するとともに、公共交通(バス等)の定時性・速達性の確保が図られる。
- ・広域防災拠点として位置付けられた公共施設や指定避難場所を結んでおり、災害時における輸送路の確保が図られる。



【出典:もりおか交通戦略(第二期)(令和3年9月)】

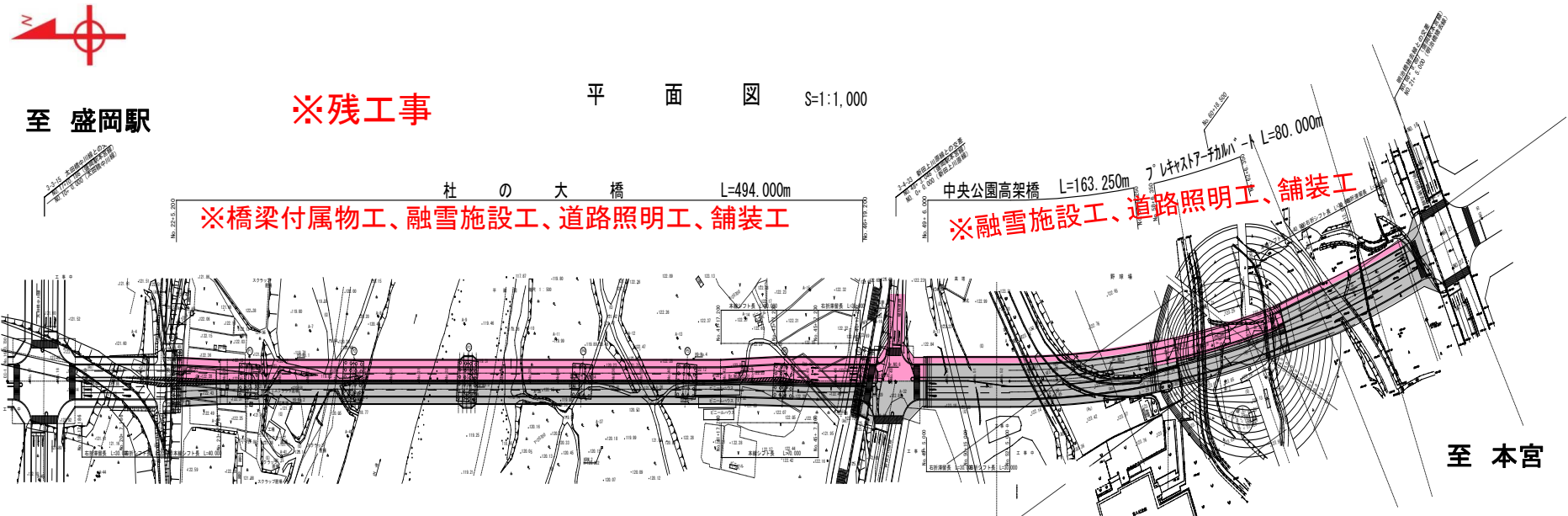
進捗状況図



至 盛岡駅

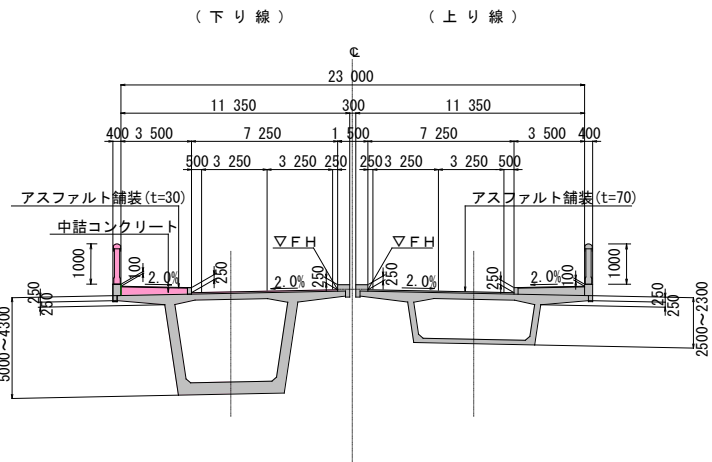
※残工事

平面図 S=1:1,000

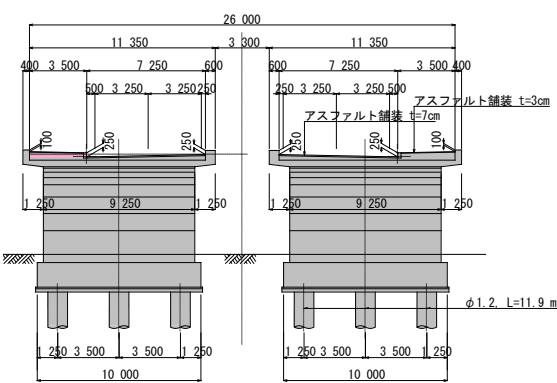


至 本宮

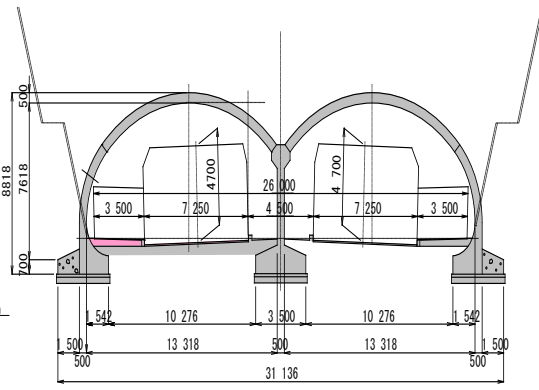
杜の大橋標準断面図 S=1:200



中央公園高架橋標準断面図 S=1:200



プレキャストアーチカルバート標準断面図 S=1:200



残工事 (R6.7現在)

岩手県立宮古商工高等学校
岩手県立宮古水産高等学校
校舎等新築事業
（所在市町村：宮古市）

現地調査説明資料



事業概要

ア 事業主体 岩手県

イ 施設の概要及び規模（施設延べ面積、敷地面積等）

(ア) 建設予定地

宮古商工高等学校商業校舎及び宮古水産高等学校の現在地（県有地）

(イ) 敷地面積

宮古商工高等学校商業校舎33,530㎡、宮古水産高等学校30,916㎡

(ウ) 施設規模（基本構想後）

区 分	構 造	階数	延床面積	備 考
校舎棟	鉄筋コンクリート造	4階	16,770㎡	新築：商工、水産、産業教育施設
第一体育館	鉄骨造	2階	1,359㎡	改修：商業校舎
第二体育館・柔剣道場	鉄骨造	1階	1,092㎡	改修：商業校舎
合 計			19,221㎡	
グラウンド整備	外構	—	11,500㎡	商業校舎敷地（陸上トラックなど）
サブグラウンド整備	外構	—	20,000㎡	水産敷地（野球場、ラグビー場など）
合 計			31,500㎡	

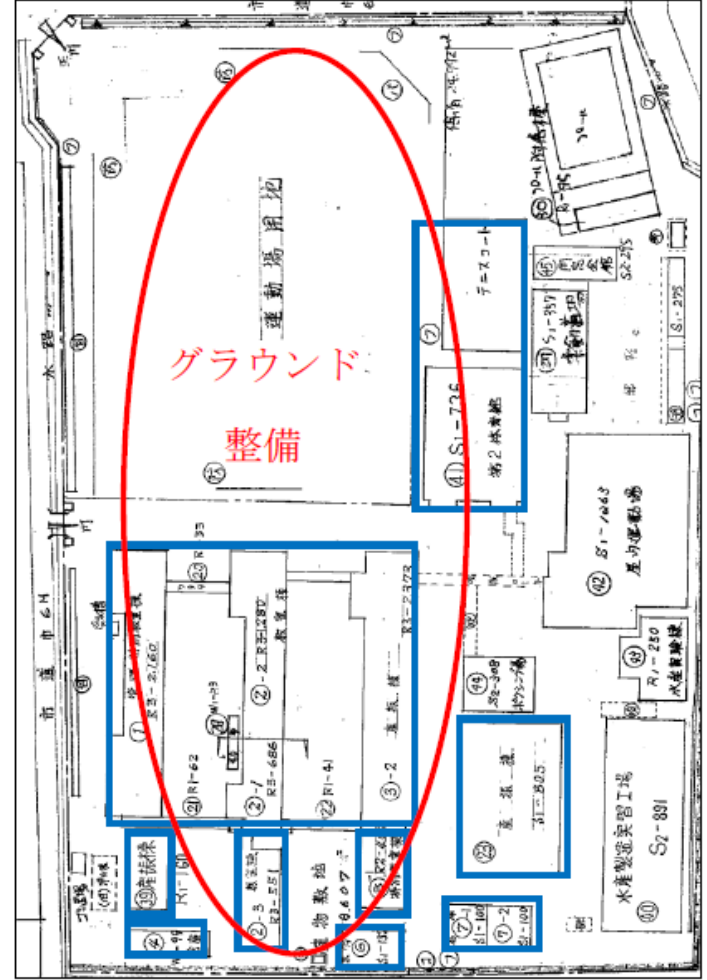
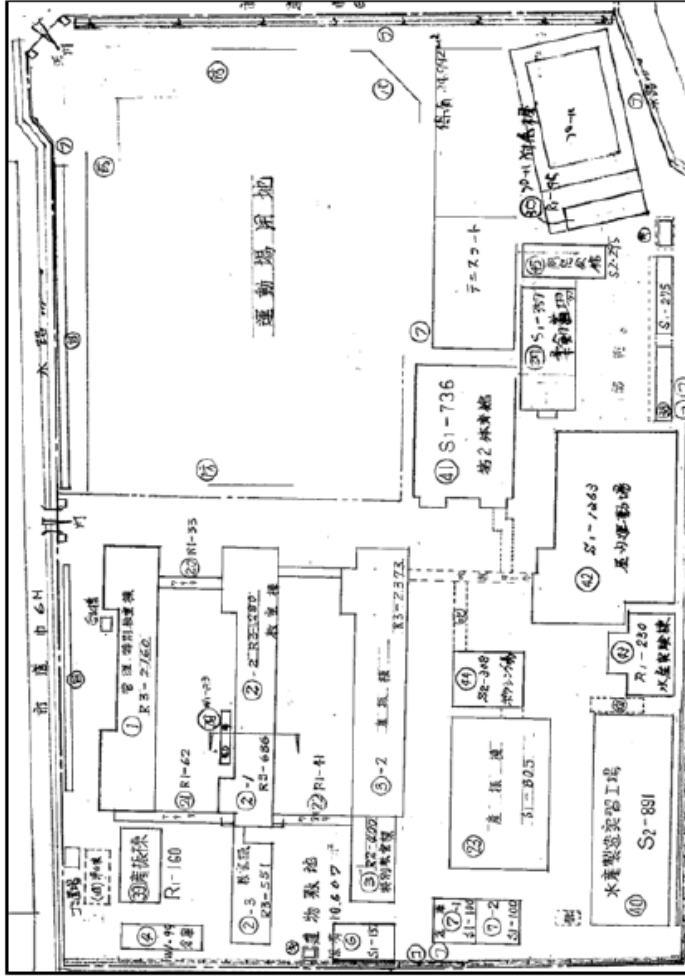
岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校校舎等新築事業 位置図



岩手県立宮古水産高等学校 配置イメージ

整備前

整備後



既存校舎等
解体

グラウンド
整備

施設規模

・ 既存施設（単位：㎡）

区分	校舎 RC造	産業教育施設 RC造・S造	第一体育館 S造	第二体育館 S造	柔剣道場 S造
商業	5,088	1,880	1,359	736	356
工業	3,154	6,258	937	614	350
水産	3,429	6,459	1,263	736	357
計	11,671	14,597	3,559	2,086	1,063
合計	26,268		6,708		

※RC造…鉄筋コンクリート造、S造…鉄骨造



・ 計画施設（単位：㎡）

区分	校舎全体 (RC造)	内訳 (校舎)	(産業教育施設)	第一体育館 S造	第二体育館 S造	柔剣道場 S造
商工	7,417	2,362	5,055	—	—	—
水産	5,793	1,460	4,333	—	—	—
共用	3,560	3,560	—	1,359	736	356
合計	16,770	7,382	9,388	1,359	736	356

参考 一体的整備に伴う諸室（特別教室）の共有化①

特別教室名	既存施設			新築	
	校舎名	諸室名	床面積㎡	諸室名	床面積㎡
会議室	商業	会議室	108.00	中会議室 A	60.00
	商業	資料室兼小会議室	67.50	中会議室 B	60.00
	商業	小会議室	40.50	小会議室 A	30.00
	工業	第一会議室	40.00	小会議室 B	30.00
	工業	第二会議室	36.00		
	水産	会議室	109.02		
	水産	小会議室	62.79		
	床面積合計		463.81	床面積合計	180.00
講義室	商業	大講義室	153.00	大講義室	230.00
	商業	大講義室準備室	40.50	多目的室（兼会議室）	145.00
	商業	視聴覚室	153.00		
	商業	視聴覚準備室	40.50		
	商業	集会室	67.50		
	工業	視聴覚室	133.00		
	工業	視聴覚準備室	32.00		
	水産	視聴覚教室	92.58		
	水産	集会室	119.76		
	床面積合計		831.84	床面積合計	375.00
音楽室	商業	音楽室	164.98	音楽室	105.00
	水産	音楽室	92.58	楽器庫	30.00
		床面積合計		257.56	床面積合計
美術室	商業	美術室	122.43	美術室	95.00
	商業	美術準備室	36.90	美術準備室	25.00
	工業	美術教室	133.00		
	工業	美術教室準備室	32.00		
	床面積合計		324.33	床面積合計	120.00
書道室	商業	書道室	130.78	書道室	90.00
	商業	書道準備室	34.20	書道準備室	30.00
		床面積合計		164.98	床面積合計

参考 一体的整備に伴う諸室（特別教室）の共有化②

特別教室名	既存施設			新築	
	校舎名	諸室名	床面積㎡	諸室名	床面積㎡
理科室	商業	理科室	105.38	理科室	90.00
	商業	理科室準備室	33.75	理科準備室	25.00
	水産	理科室	118.60	化学実験室	95.00
	水産	準備室	34.20	理科倉庫	5.00
	工業	化学実験室	133.00	理科薬品庫	10.00
	工業	化学実験準備室	32.00		
	工業	物理実験室	133.00		
	工業	物理実験準備室	32.00		
	床面積合計		621.93	床面積合計	225.00
図書室	商業	図書室	118.80	図書室	80.00
	工業	図書室	108.00	図書閲覧室	90.00
	水産	図書室	125.40	司書室	20.00
	商業	図書司書室	16.20		
	工業	司書室	15.75		
	水産	司書室	31.40		
		床面積合計		415.55	床面積合計
調理室	商業	調理教室	108.00	調理教室	140.00
	商業	調理教室準備室	33.75	調理準備室	35.00
	工業	食物実習室	144.00		
		床面積合計		285.75	床面積合計
被服室	商業	被服実習室	110.25	被服室	130.00
	商業	被服実習室準備室	18.00		
	工業	家庭科総合実習室	147.25		
	工業	家庭科総合実習準備室	42.75		
		床面積合計		318.25	床面積合計

参考 産業教育施設（実習施設）の見直し 商業

既存施設			新 設			備考
No.	諸室名	床面積㎡	No.	諸室名	床面積㎡	
1	情報処理室+講義室	172.89	1	情報処理室	100.00	
			2	選択講義室1	45.00	分割
3	情報処理準備室	34.20	3	商業実習準備室	30.00	
4	総合実践室+講義室	170.10	4	総合実践室	120.00	
			5	選択講義室2	45.00	分割
6	プログラミング室+講義室	145.80	6	プログラミング室	95.00	
			7	選択講義室3	45.00	分割
8	LL教室	116.48				廃止
9	LL教室準備室	14.80				廃止
10	コミュニケーション室	116.48				廃止
11	準備室	17.55				廃止
			12	ネットワーク実習室	75.00	新設
			13	選択講義室4	45.00	新設
床面積合計		788.30	床面積合計		600.00	

参考 産業教育施設（実習施設）の見直し 工業（機械）①

既存施設			新 設			備考
No.	諸室名	床面積㎡	No.	諸室名	床面積㎡	
1	機械実習室（旋盤）	175.77	1	機械実習室（旋盤）	180.00	
2	機械実習室（特殊機械）	234.36	2	機械実習室（特殊機械）	175.00	
3	原動機・流体実習室	109.17	3	原動機・流体実験室	110.00	
4	木型・鋳造実習室	128.34	4	鋳造実習室	95.00	
5	器具庫	73.44	5	器具庫	35.00	
			6	工具室	20.00	新設
			7	コンプレッサー室	15.00	新設
8	施工実習室	144.00	8	施工実習室	165.00	
9	溶接実習室	113.58	9	溶接実習室	90.00	
10	空気調和実習室（ボイラー）	33.00	10	空気調和・衛生実習室	135.00	集約
11	空気調和実習室（送風）	26.40				集約
12	空気調和実習室（空気調和）	163.80				集約
13	空気調和実習室（負荷）	70.20				集約
14	試験材料実習室	70.02	14	材料試験実習室	85.00	
15	情報実習室	153.72	15	情報実習室	90.00	
16	機械制御実習加工室	64.62	16	機械制御実習加工室	50.00	
17	機械制御実習端末処理室	49.23	17	機械制御実習端末処理室	45.00	
18	F A実習室	110.79	18	F A実習室	40.00	
	床面積小計①	1,720.44		床面積小計①	1,330.00	

参考 産業教育施設（実習施設）の見直し 工業（機械）②

既存施設			新 設			備考
No.	諸室名	床面積㎡	No.	諸室名	床面積㎡	
19	電気計測実習室	58.86				廃止
20	衛生設備実習室	243.00				廃止
21	計画実習室	57.60				廃止
22	精密加工実習室	110.79				廃止
23	手仕上実習室	54.54				廃止
24	工業基礎実習室	173.88				廃止
25	材料試験実習室	81.00				廃止
26	設備設計実習室	102.60				廃止
27	測量実習室	36.00				廃止
28	設備設計実習室	72.00				廃止
29	第一課題研究実習室	108.00	29	課題研究実習室	145.00	
30	第二課題研究実習室	71.25				廃止
31	第三課題研究実習室	150.00				廃止
			32	課題研究準備室	40.00	新設
33	機械科製図実習室	152.00	33	製図室	150.00	
34	機械科製図実習準備室	32.00	34	製図準備室	35.00	
35	準備室	19.00				廃止
	床面積小計②	1,522.52		床面積小計②	370.00	
	床面積合計①+②	3,242.96		床面積合計①+②	1,700.00	

参考 産業教育施設（実習施設）の見直し 工業（電気）

既存施設			新 設			備考
No.	諸室名	床面積㎡	No.	諸室名	床面積㎡	
1	計測実習室	207.00	1	計測実習室	120.00	
			2	計測準備室	40.00	新設
3	電気機器実習室（回転）	162.00	3	電気機器実習室（回転）	100.00	
4	電気機器実習室（高圧）	54.00	4	電気機器実習室（高圧）	100.00	
5	電気機器実習室（静止）	63.00	5	電気機器実習室（静止）	60.00	
6	電気機器実習室（準備）	45.00	6	電気機器準備室	25.00	
			7	電気計測実習室	40.00	新設
8	計測実習室（照明）	45.00	8	計測実習室（照明）	50.00	
9	自動制御実習室	108.00	9	自動制御実習室	75.00	
10	工作実習室	119.00	10	電気工作実習室	95.00	
			11	電気工作準備室	35.00	新設
12	電気工事实習室	133.00	12	電気工事实習室	90.00	
13	電子機器実習室（応用）	54.00				廃止
14	電子機器実習室（機器）	63.00				廃止
			15	電子計測実習室	45.00	新設
16	電子計算機実習室	225.00	16	電子計算機実習室	115.00	
			17	電子計算準備室	30.00	新設
18	建築設備科製図実習室	152.00				機械科と共用
19	建築設備科製図実習準備室	32.00				機械科と共用
			20	課題研究室（器具保管室）	40.00	
床面積合計		1,462.00	床面積合計		1,060.00	

参考 産業教育施設（実習施設）の見直し 水産①

既存施設			新 設			備考
No.	諸室名	床面積㎡	No.	諸室名	床面積㎡	
1	機関実習室	190.00	1	工学実習室	90.00	
2	航海計器実習室	109.98				廃止
3	航海実習室	65.00				廃止
4	組立仕上実習室	85.00				廃止
5	運用実習室	133.48				廃止
6	運用実習室	140.00				廃止
7	運用実習室	75.00				廃止
8	食品科学総合実習室	250.00	8	食品化学総合実習室	70.00	
			9	食品化学総合実習準備室	25.00	新設
			10	食品薬品庫	20.00	新設
11	栽培漁業実習室	160.00	11	資源増殖実習室	100.00	
			12	資源増殖実習準備室	20.00	新設
			13	資源増殖実習控室	10.00	新設
14	海洋気象実習室	69.56	14	海洋気象実習室	40.00	
15	水産生物室	82.73	15	海洋生物実験室	80.00	
			16	海洋生物準備室	35.00	新設
17	漁具制作実習室	132.00	17	漁具製作実習室	70.00	
	床面積小計①	1,492.75		床面積小計①	560.00	

参考 産業教育施設（実習施設）の見直し 水産②

既存施設			新 設			備考
No.	諸室名	床面積㎡	No.	諸室名	床面積㎡	
			18	漁具製作準備室	25.00	新設
19	漁具性能実習室	60.00				廃止
20	食品資源	123.76	20	食品資源学習室	40.00	
			21	船舶運用学習室	40.00	新設
22	食品製造実習室	891.00	22	食製実習室	620.00	
			23	運用実習室	30.00	
24	実習船資料室	99.36	24	水産科資料室	70.00	
25	航海計器実習室	100.00	25	航海計器実習室	110.00	
26	シミュレーション室	109.98	26	シミュレーター室	80.00	
27	準備室	60.16				廃止
28	パソコン室	128.86	28	I C T室	75.00	
29	準備室	34.00				廃止
30	情報機器室	31.40				廃止
31	専攻科学習室	99.64	31	専攻科学習室	60.00	
			32	専攻科準備室	30.00	新設
33	船舶職員室	43.75	33	船舶職員室1	30.00	
34	海翔実習室	47.94	34	船舶職員室2	35.00	
	床面積小計②	1,829.84		床面積小計②	1,245.00	
	床面積合計①+②	3,322.59		床面積合計①+②	1,805.00	

参考 産業教育施設（実習施設）の見直し 家庭

既存施設			新 設			備考
No.	諸室名	床面積㎡	No.	諸室名	床面積㎡	
1	第1調理室	175.78	1	専門調理室1	180.00	
2	準備室	42.30	2	調理準備室	30.00	
3	第2調理室	118.60	3	専門調理室 2	145.00	
4	準備室	34.20				廃止
			5	師範デモ室	50.00	新設
6	集団給食室	94.00	6	集団給食室	170.00	
7	接遇・マナー室	179.54	7	接遇マナー室	120.00	
8	試食室	65.80	8	調理学習室	70.00	
9	第1被服室	221.28	9	被服・家庭経営室	125.00	
10	準備室	44.65	10	家庭科準備室	30.00	
11	家庭経営室	159.80				廃止
12	試着室	65.80	12	食物科更衣室1	30.00	
			13	食物科更衣室2	30.00	新設
			14	食物科職員室	60.00	新設
	床面積合計	1,201.75		床面積合計	1,040.00	

参考 東日本大震災津波浸水状況



がれきに埋め尽くされた県立宮古工業高等学校グラウンド(平成23年3月13日)
同校提供



県立宮古工業高等学校の玄関前・校庭(平成23年3月13日)



県立宮古水産高等学校の正門前(平成23年3月13日)
同校提供



県立宮古水産高等学校のグラウンド(平成23年3月13日)
同校提供

令和6年度第1回大規模事業評価専門委員会の審議概要

1 岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校校舎等新築事業（宮古市）【事前評価】

質疑等の概要	
専門委員からの質疑等	事業担当課の対応（回答）
① 整備事業費の設備費が未定となっているが、対象設備や概算額の目安はあるのか。	【教育企画室】 新校舎建築に伴い、机や実習機械の更新を予定しているが、どの程度更新が必要であるか、今後学校側の要望を踏まえて検討することから、現時点では未定としている。
② 老朽化が進むとともに、東日本大震災から10年以上経過したものの、これまで改修・更新が行われなかったのはなぜか。	【教育企画室】 県立高校の6割以上が築40年を超えている状況であり、なかなか整備が進まないのが現状である。計画的な整備に努めているところであり、今回、最も老朽化の進んでいる当該3校舎を一体的に整備する計画としている。
③ 今回の施設整備事業は、令和3年度から令和7年度までの高校再編計画後期計画に基づいているものと理解しているが、新校舎の供用開始は令和9年度の予定であり、令和8年度以降の宮古地域の定員配置の見通しについては議論されているのか。 また、本事業計画とどのようにリンクするのか。	【教育企画室】 令和8年度以降の県立高校の在り方について、昨年度から有識者のご意見をお聴きするとともに、今年度は各地域でご意見を聴く懇談会を開催するなど、次期計画策定に向けた準備を進めているところ。 令和7年度までの後期計画において、3校舎を一体的に整備するという基本方針を定め、現在の定員に基づき適正な施設規模を検討したところだが、整備時期がそれ以降となることについては、ご理解いただきたい。 なお、生徒数の減少については、今後も全県的に進む見込みであることから、生徒数の実態に合った施設整備について、本事業を契機に今後も検討を進めていく。
④ 県の財政状況が厳しい中で、本事業を実施すれば他の地域では遅れが生じることになると思われるが、全県で議論した上で、本事業を優先して実施することとしたのか。	【教育企画室】 例えば、工業高校については、県南地域の再編なども議論しているところであり、施設整備も含めて全県的に議論した上で、今回、宮古地域での事業計画としている。
⑤ 一体整備により効率性を図ることは理解できるが、延床面積の縮小に伴い、避難施設としての機能や防災拠点としての位置付けについて検討しているのか。	【教育企画室】 現在は、宮古商工高等学校商業校舎のグラウンドが緊急避難場所に指定されている。宮古市河南地域では、他に磯鶏小学校と河南中学校が指定されている。新校舎の位置付けについても宮古市から要望があれば協議していく。体育館も含めて避難施設として対応可能と見込んでいる。

⑥	来年の省エネ基準の改定に対応して設計されると思うが、目指す省エネ基準の考え方は。また、総事業費には概算額が含まれているか。	【教育企画室】 県の方針に基づき ZEB Ready 相当を目指し、概算額は総事業費にも含んでいる。
⑦	整備面積及び整備費用について、適正と判断した根拠は。	【教育企画室】 新校舎の建築単価は、51.3 万円/㎡程度を想定している。これまでの県立高校の整備実績では、令和4年度の釜石祥雲支援学校が 53.2 万円/㎡、令和3年度の伊保内高等学校が 50.4 万円/㎡であり、これらと比較して過大ではないと判断している。
⑧	建築単価は過去の整備実績とあまり変わらないようだが、昨今の物価高騰も加味した事業計画としているのか。	【教育企画室】 今後の物価上昇分も見込んだ形での事業計画としているが、さらに高騰した場合には、対応について財政課と協議する。
⑨	グラウンド整備の考え方及び費用は。	【教育企画室】 宮古商工高等学校工業校舎に野球とラグビーの専用グラウンドがあるが、それを宮古水産高等学校の敷地に整備することで、現在の部活動を維持できるようにする。グラウンド整備費用については、両校合わせて約8億円程度を想定している。

2 紫波警察署庁舎等整備事業（紫波町）【事前評価】

質疑等の概要	
専門委員からの質疑等	事業担当課の対応（回答）
① 老朽化だけでなく狭隘化の解消を目的としていたが、結果的に他の警察署に比べて敷地面積が非常に小さいものとなっているが大丈夫か。	【県警本部】 予算の範囲内で、業務に支障のない最低限必要な面積を確保しており、庁舎部分の面積は2倍以上となっている。
② 警察施設は、費用便益分析（B/C）による効率性の検証を行わないと記載されているが、そのような場合の評価基準の考え方は。	【県警本部】 警察施設の場合は、機密性が求められ、外部に開放できる部分がほとんどなく、費用便益分析を行うことが困難であるが、定性的な効果も含めて総合的に評価している。 なお、P F I 手法の導入を検討した際にも、採算性が取れないと評価している。
③ 総事業費に設備費は含まれているか。	【県警本部】 過去の事例を踏まえ、概算額を計上している。
④ 敷地の一部に洪水浸水想定区域があり、庁舎の位置をそこにかからないようにするということが、実際の災害では必ず超えないということはないので留意いただきたい。	【県警本部】 基礎部分も多少嵩上げする予定としている。

3 若柳中部経営体育成基盤整備事業（奥州市）【再評価】

質疑等の概要	
専門委員からの質疑等	事業担当課の対応（回答）
① 希少野生動植物の対応として、生息適地への移植（植物）とあるが、本事業の保全対象は植物だけか。	【農村建設課】 事業開始前に、希少野生動植物調査検討委員会の各分野の有識者に現地調査いただき、本事業では、そのご意見を踏まえ当該対応を行ったもの。

4 馬淵川広域河川改修事業（二戸市、八幡平市、一戸町）【再評価】

質疑等の概要	
専門委員からの質疑等	事業担当課の対応（回答）
① —	—

5 都市計画道路整備事業 盛岡駅本宮線（杜の大橋）（盛岡市）【再評価】

質疑等の概要	
専門委員からの質疑等	事業担当課の対応（回答）
① 「事業計画の変更の有無及び内容」の中項目評価が「b」で、事業計画の大幅な変更ではないと整理されているが、当初 26 億円から今回 55 億円に増額となり、金額的に非常にインパクトが大きく感じるところ。金額が外部要因で、工事内容が変わらないから大幅な変更ではないという整理の仕方で良いのか。当初の事業費の見積自体が妥当であったのかという観点からも整理が必要ではないか。	【都市計画課】 「事業計画の変更の有無及び内容」の中項目評価の考え方としては、他事業と相違ないものと考えている。 もう一つの判断軸としては、費用便益分析（B/C）と考えており、たしかに総事業費が増加したものの、それに対する便益も 1 以上（B/C = 3.1）確保されており、交通戦略に基づいた都市計画道路の整備として、4 車線化が、将来的には、今の中心市街地と後で整備される盛岡南新都心の市街地を結ぶ交通軸としての重要性を表している。
② <委員会後の質問・意見*> 事業費が増額となる理由のうち、社会的要因に係るものについて、年度・理由を整理し、事業開始時からの経緯を詳しく説明して欲しい。	【都市計画課】 <u>第 3 回委員会で説明する。</u>
③ <委員会後の質問・意見*> 杜の大橋から盛岡駅を通過し市街地へ至る道路は渋滞が慢性化しているが、4 車線化の完成後の交通量の増加により、渋滞に拍車がかかるのではないか。	【都市計画課】 <u>第 3 回委員会で説明する。</u>

※ 大規模公共事業の再評価については、会議時間の都合上、質疑時間が限られたため、後日事務局が取りまとめ、継続審議で回答することとした。